

平成 23 年 4 月 市議会議員選挙より定数 17 名に決定

過去より議員定数を改選時に平成 11 年 2 名減、平成 15 年 3 名減、平成 19 年 2 名減と削減してきた。今回、議会では、定数 19 名から 17 名への 2 名減の案をお示しし、議会報告会 12 地区の会場において市民の皆様に御説明させていただきました。議会報告会では、御参加いただいた方より定数削減をすべきという御意見がおおむね 3 分の 2 ほど、現状維持との御意見が 3 分の 1 ほどありました。

詳細を抜粋し、右記にありますような貴重な御意見をたくさんいただきました。ありがとうございました。

その御意見等を参考に去る 6 月本会議にて、議員提案として「小松島市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例について」2 名減を提案し、賛成 11 名、反対 6 名で可決しました。

徳島県内 8 市中、削減数 9 名最多

議員定数他市比較表

市名	歳入総額(千円)	人口	面積(km ²)	法定上限数(A)	議員定数(B)	(A)-(B)削減数
徳島市	86,094,569	264,613	191.58	38	34	4
鳴門市	22,613,061	61,737	135.46	30	22	8
小松島市	13,357,426	40,913	45.24	26	17	9
阿南市	33,956,277	76,270	279.39	30	28	2
吉野川市	18,047,864	44,334	144.19	26	22	4
美馬市	17,561,565	32,918	367.38	26	20	6
阿波市	21,211,133	39,575	190.97	26	21	5
三好市	25,325,179	31,134	721.48	26	24	2

*表内にある歳入総額、人口は平成 19 年度の数値である。

上記比較表にありますように、法で定められた上限数より今回定数 17 名とすることにより、県内 24 市町村の中の市である 8 市中、最も多い削減数となりました。また歳入規模、いわゆる財政力から全国同規模自治体と比較したところ、平均値よりさらに少ない 17 名の定数となりました。

さらなる向上を目指して

削減を推し進める中で、市民の皆様より
 「我々住民の声が届きにくくなるのではないか」
 「議会のチェック機能が低下するのではないか」
 などの御意見をいただくことに関しては、各議員がそれぞれにその使命と責任をより強固なものとし、議会改革の推進、体制強化を引き続き行っていきます。そうすることにより、市民の皆様のさらなる福祉向上へとつなげていきたいと考えております。

和田島公民館にて



常任委員会だより

総務産建常任委員会

北野 恒男 委員長

個人住民税の年少扶養控除 平成二十四年度分から廃止

本委員会には、議案七件が付託された。審査の結果、議案第三十四号、議案第三十七号から議案第四十一号 火災予防条例の一部改正、議案第四十四号 市道の路線の変更については、可決すべきものと決した。継続審査になっていた陳情第一号「安全・安心な国民生活実現のため、防災・生活関連予算の拡充と国土交通省の地方出先機関の存続を求める」件については、再度継続すべきものと決した。

議案第三十七号 職員

れる職員に関する規定を整備する。

議案第三十九号 職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について

主なものは退職者の退職手当の規定で、勤続期間を六月以上から十二月以上に改める。

議案第四十号 企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例について

雇用保険法等の一部を改正する法律に基づき、勤続期間六月から十二月に改正する。

文教厚生常任委員会

井村 保裕 委員長

坂野中学校横の市民プール 解体に伴い条例廃止

本委員会に付託された議案三件、請願一件について審査した。

第三十五号 専決処分承認について

小松島市国民健康保険条例の一部を改正する

条例であり、国民健康保険の基礎課税限度額を三万円、高齢者支援金等課税限度額を一万円引き上げる。

保険税の軽減として、非自発的失業者の国民健康保険税を、昨年の給与所得を百分の三〇として保険税を計算する等。

第四十二号 小松島市民プール条例を廃止する条例について

現在坂野町にある坂野中学校横の市民プールを

老朽化のため解体するので、これに伴い条例も廃止する。

第四十三号 小松島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について

条名の変更である。以上、議案三件を可決した。請願第三号「生活保護の老齢加算の復活を国に求める」件について

閉会中であつても引き続き調査すべきという意見が多数あり、継続審査となった。

所管での質問

【質問】 今後の学校耐震化に対する見通しはどうか

【答弁】 財政的な理由から他市と比べて非常に遅れ



委員会風景



夏休みに解体される坂野中学校横の市民プール

ている。二〇一四年度までにはすべての耐震補強や改築を実行したいという方向性は持っている。

質問 小・中学校の就学援助について、準要保護の八項目に新たにクラブ活動費・生徒会費・PTA会費の三項目が追加されたが、本市はこれを補

助対象にしないのか。

答弁 昨年七月に学校教育法の一部改正があり、三項目が追加された。近隣自治体も対象項目にするのかは未定である。また、交付税措置されるかどうか現時点では確認されていらない。今後、検討や研究をしていきたい。

予算決算常任委員会

安平 剛之 委員長

大雨被害による

復旧工事費に七百万円

本委員会に付託された

議案第三十三号 平成

二十一年度小松島市一般

会計補正予算（第八号）、

議案第三十六号 平成

二十二年度小松島市一般

会計補正予算（第一号）

については、いずれも全

会一致で原案のとおり可

決すべきものと決した。

議案第三十三号

歳出補正額

基金費

二億四千四百万円

前年度繰上充用金

六億四千六百八十万円

議案第三十六号

歳出補正額

商工費

ブルーインパルス招致



市道立江 44 号線

事業

道路橋梁費

三百万円

四月二十七日の大雨被害による復旧工事費

七百万円

所管での質問

質問 南小学校耐震化事業は二十二年度中に補強

設計の委託を行うのか。

答弁 文部科学省の補助

費の内示があった。千代

小学校と南小松島小学校

の補強設計を行い、できれば工事にも着手したい。

質問 集中改革プランでは五年間に普通会計の赤字を解消することになっ

ているが、その行程を示

せ。

答弁 本会議終了後、こ

れまでの五カ年間の成果

これから向こう五年間の

財政シミュレーションを

示す。



市道中央通り線（小神子入口）

市政 Q & A

天羽 篤 議員

1. 自治基本条例の制定について
2. 市税の滞納処分について
3. 幼・小・中学校の再編について
4. 活性化策について(撤退会社の跡地利用について、赤石港の利用について、本港地区の振興策について)

池淵 彰 議員

1. 入札等に関する制度改革について
2. 歳入確保・自主財源増収対策について
(国の制度改革による一括交付金について、市税、徴収率アップ対策について、企業誘致優遇制度について)

北野 恒男 議員

1. 子ども手当について(周知及び申請手続、申請の状況、受給資格)
2. 児童虐待について(相談件数と種類、防止の取り組み)

井村 保裕 議員

1. 次世代育成支援後期行動計画について 策定と今後の対応について、生活環境の整備について)
2. 学校耐震化と建て替えについて(小松島中学校について、坂野中学校について、今後の耐震化の計画について)
3. 太田川流域の排水対策について

安平 剛之 議員

1. 競輪事業決算について(平成 21 年度決算について、平成 22 年度決算予測について)
2. 消費者センター設置について(消費者センター設置場所選定経緯について)
3. 市所有機械の運用計画について(購入機械の使用日数について)
4. 外開川の悪臭について
5. 遊休土地の利用について
6. 意識改革・政策力向上について(自治体法務検定について)

宝 覚 議員

1. 国民健康保険(ワクチン接種助成(Hib、肺炎球菌、子宮頸がん)、国保税の軽減、減免、資格証)
2. 高齢者医療制度

出口憲二郎 議員

1. 地方分権時代における市長と議会との関係、あり方について
2. 市営火葬場について
3. 南海、東南海地震、土砂災害ハザードマップについて

滞納者に対する差し押さえは、生活・経営状況の把握してからに

日本共産党 天羽 篤 議員

答 滞納処分に至り、納付不履行があれば、差し押さえする



企業立地などの優遇措置制度の抜本的な見直しをすべき

みらいの会 池淵 彰 議員

答 適用要件など見直しを図る

